

令和 7 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 7 年 5 月 29 日(木)18 時 30 分～20 時 15 分		
開催場所	国府まちづくりセンター	参加人数	6 人
出席議員	村武まゆみ、肥後孝俊、牛尾昭		
意見	【総務文教委員会】 ・ 盆踊りイベントに対する批判的な意見（暑い時期に開催することへの疑問・子どもが喜ぶことをした方が良い。） ・ 文化伝承事業における 1200 万円の費用対効果に疑問。 ・ 高齢者の移動手段 免許返納後の高齢者の移動手段の確保が課題。高齢者でなくても車を運転しない方は地域で暮らしていくにはとても不便なまちだとの意見があり、勤務地が限られることや家族に移動を頼み、頼まれた家族の時間を奪っている。既存の支援策では十分ではない。公共交通機関の運転手不足も深刻化しており、新たな支援策が必要。 ・ まちづくりセンターもオンラインで会場予約やスマートキーシステム(予約者に定められた日時限定のパスワードが発行され鍵の開閉ができる装置)を取り入れてほしいと要望された。(スマート窓口整備事業を横展開して) ・ 浜田ろう学校では、地域住民との連携を強化し、防災拠点としての活用を目指している。また、難聴体験や補聴器の助成など、地域福祉への貢献も行なっている。浜田市とも福祉・防災を手始めに連携をすべきではないか。休日の際、避難所である体育館の鍵を借りようにも担当者が不在となる事や管理の問題がある。 ・ 市長のシンクタンクがないのが 1 番の問題ではないか・事前に議会と調整できないものか。次世代に継承する文化と商業的価値を結びつけるのは無理があるのではないか。(郷土資料館・神楽伝承施設全般について)		

	・浜田城資料館はなぜ無料なのか。子ども美術館を維持するのに経費を稼ぐ方法を考えないと。 ・若い方が楽しめる、帰って来れるまちづくりをしなければいけないのではないか？魅力づくりが必要 ・石央文化ホールも苦勞している。年間の維持管理費を稼ぐ方法を考えていかないといけない。文化施設だからといっても収益を考えて魅力あるまちを作らなければ。戦略的広報が必要。他の地域に行っても、帰って来れる地域を目指さないといけない。
	【福祉環境委員会】 ・本庁と支所をオンラインでつなぐ「スマート窓口整備事業」は良い取り組みと評価された。
	【産業建設委員会】 ・家屋内シェルターの助成事業を開始し、最大 20 万円の補助制度は高評価をいただいた。より市民に伝えるために PR を。

令和 7 年 6 月 2 日 肥後 孝俊